

# わ 広報 わたらい



8月22日、台風10号接近

## どこかに危険が

オーロラの襲(た)げのように、横なぐりの雨が揺れ動く。白い糸のレースとなって揺れ動く。

台風特有の激しい雨足が地面を叩く。

遙(は)か南の洋上に発生した小さな雲の渦、気圧を下げた中心は、廻りの雨雲を巻き込み巨大な渦となる。そして、勢力を強めながら、日本列島を襲ってきた。

人々は、ほとんど為(な)す術(すべ)もなく、じつと巨大な渦が通り過ぎていくのを待つ。所せん、自然との闘いに真向から挑むのは無謀なことだ。

先の長崎県地方の集中豪雨でも、土地の古老は記憶にないと言う。

自然の破壊力は、はかり知れないことを改めて知るべきだ。いずれ地球の星自体、なくなるのではと天文学は言う。

今、横なぐりに降りしきる台風十号の余波の中にも、どこかに危険が潜んでいます。あなたの家の裏山が、近くの山狭に土石流が、溜池の堤防が・・・あなたに、あなたの家族に逃げる勇気を求めます。

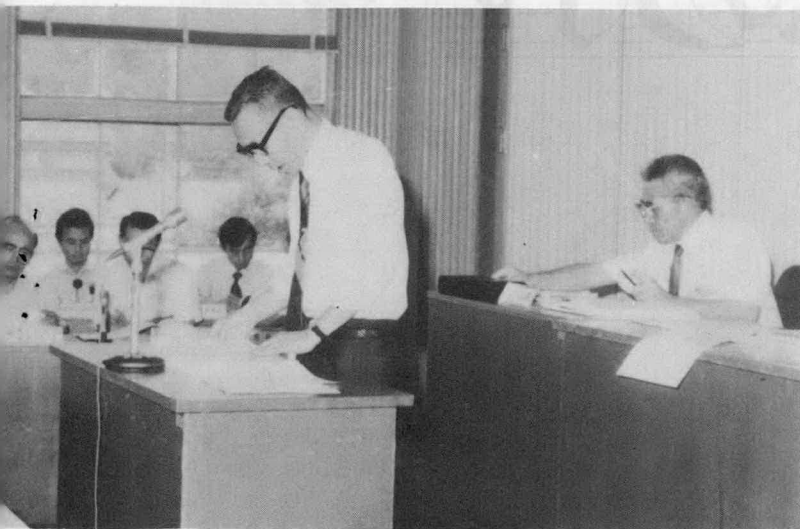
### 町のうごき

59.8.1現在

人口	男	4,455	計	9,147	出生	7	転入	13
	女	4,692	世帯数	2,073	死亡	4	転出	4

# 億4,314万5千円

## 59年度一般会計年間予算成立する



昭和五十九年第二回定例町議会は、七月十九日に招集され七月二十七日までの九日間を会期として開催されました。

去る三月の第一回定例会で可決された一般会計暫定予算の年間予算案としての審議など予算関係四議案、条例関係三議案、昭和五十八年度農業共済事業会計決算の認定、その他七議案及び、議員提案による意見書についての提案理由の説明、議案に対する質疑が行われ、関係議案を各常任委員会に付託して審議されました。続いて西村、北川、山下、中野、西田、中広の各議員からの一般質問が行われ、いずれも原案どおり可決されました。

尚、南勢広域斎場組合の設立についての議案は、教育民生常任委員会へ付託されたものの、継続審議となりました。

※南勢広域斎場組合——伊勢市、小俣町、玉城町、二見町、御園村、度会町、明和町の七市町村で一部事務組合を設立し、火葬場を設置、運営しようとするものです。尚、当議案は八月十一日招集された第二回臨時町議会において可決されました。

### 可決された

### 議案

昭和五十九年度 度会町一般会計予算

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ十八億四千三百四十五万五千円と定めました。

### 主な予算

内小校舎改築に継続費予算  
五億五、八六〇万円を計上  
新農構(内城田西部地区)も  
七、八九七万二千元を計上

- ◇四十歳以上の成人を対象に更に予防に主眼をおいての健康づくりを推進するために―老人保健対策推進費に三五三万二千元
- ◇老朽茶園の改植奨励に二五〇万円
- ◇尿処理費用(伊勢度会環境衛生組合への負担金支出が主なもの)に一、九八八万三千元
- ◇団体営ほ場整備事業の調査費に三〇五万円
- ◇サニ―ロードの事業負担金として八〇五万円
- ◇山振事業費に三、一三四万九千円
- ◇農村基盤総合整備事業に三、〇三七万円
- ◇新農構事業に七、八九七万二千元
- ◇小規模排水対策特別事業に九五五万円
- ◇団体営農道整備事業に六〇八万円
- ◇間伐対策事業に一、三四九万六千円
- ◇町有林の整備関係費用に一、二一五万六千円
- ◇町道の維持費に一、九一六万円
- ◇五里山橋の架け替え、日向火打石線、その他町道改良関連費用として一億一、〇八一万四千元
- ◇県道改良事業関係費用として一、四三五万円
- ◇防火水槽の設置、小型動力ポンプの購入等消防設備の充実に七九七万一千円
- ◇内城田小学校校舎改築事業に

二億四、九六〇万円(昭和六十年  
度の継続分として三億九百万円)

◇災害復旧(過年災五里山橋災  
害復旧分)事業として四、四二  
万三千円

.....が、主な事業  
として計上され、対前年当初予  
算比二五・九パーセントの伸び  
を示しました。

昭和五十九年度 度会町国民  
健康保険特別会計補正予算(第  
一号)

歳入歳出予算の総額から、そ  
れぞれ四百九十八万七千円を減  
額し、予算の総額を二億八千九  
百九十六万七千円と定めました。

昭和五十九年度 度会町簡易  
水道事業特別会計補正予算(第  
一号)

歳入歳出予算の総額から、そ  
れぞれ百五十五万円を減額し、  
予算の総額を十七億五千九万八  
千円と定めました。

昭和五十九年度 度会町老人  
保健特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に、それ  
ぞれ七百六十九万三千円を追加  
し、予算の総額を二億六千七百  
十四万九千円と定めました。

専決処分の承認を求めること  
について

◇度会町税条例の一部を改正す  
る条例

◇度会町国民健康保険税条例の  
一部を改正する条例  
※地方税法等の所得割に係る控  
除額の一部が改正されたことに  
よる町税条例の関連改正。町国  
保税条例については、課税最高  
限度額の改正。

◇昭和五十八年度 度会町一般  
会計補正予算(第八号)

※歳入歳出予算の総額に、それ  
ぞれ七十万円を追加し、予算の  
総額を十九億四千七百六万九千  
円としたもの。

.....昭和五十九年三月  
三十一日付で町長が専決処分し  
たことを報告し、承認されたも  
のです。

昭和五十八年度 度会町農業  
共済事業会計決算の認定につい  
て

昭和五十八年度の農業共済事  
業会計決算が認定されたもの。

度会町職員の定年等に関する  
条例

地方公務員法の改正に伴い、  
本町職員の定年を六十歳と定め  
ました。

議会の議員の報酬および費用  
弁償等に関する条例の一部を改  
正する条例

本町議会の議員の期末手当の  
支給日を国家公務員及び町職員  
の例に準じて改正しました。

消防団員等公務災害補償条例  
の一部を改正する条例

消防団員等に係る損害補償の  
基礎額を引き上げたもの。

工事請負契約の締結について

内城田小学校の校舎改築工事  
の請負契約について議会の議決  
を得たもの。

▽契約金額  
四億七千八百万円

▽契約の相手方  
伊勢市一之木2-25-34  
吉川建設(株)

度会町営土地改良事業の変更  
について

農村基盤総合整備事業(内城  
田東部地区)のほ場団地、農業  
用排水施設に係る変更を可決  
したもの。

度会町営土地改良事業の施行  
について

新たに、  
▽小規模排水対策特別事業(大  
野木沖田地区)  
▽団体営農道整備事業(棚橋、  
大野木地区)

の施行について全体計画を可  
決したもの。

助役の選任につき同意を求め  
ることについて



### 助役就任

あいさつ

山根勝己

町民の皆様残暑の候ますます  
ご清祥のこととお喜び申し上げ  
ます。

このたびははからずも度会町  
助役に就任いたしました。これ  
ひとえに皆様の温かいご支援の  
たまものであり、まことに光栄  
に存じます。もとより浅学非才、  
その任ではございませんが、町  
長の提唱されている「明るく、  
住みよい、生がいのある」まち  
づくりのため、町長の補佐役と

して、その職務に最善の努力を  
つくす覚悟でございます。

度会町も明年四月一日、合併  
三〇周年を迎えますが、合併当  
時をふりかえるとき、今昔の思  
いがいたします。きびしい町財  
政の中でありましたが、数々の  
事業が遂行されてまいりました。  
苦しみの連続であったと思いま  
す。

しかし、このような努力の積  
み重ねの結果、ようやく基礎づ

くりが出来た感じがいたします。  
何をするにも和が大切であると  
存じます。いつも和の心をもつ  
て、度会町躍進と町民生活の向  
上を目指して、皆様方とともに  
歩んでいきたいと願っております。

どうか今後とも倍旧のご指導  
とごべんたつを賜りますよう  
お願い申し上げます、ごあいさつと  
いたします。

略歴  
昭和二九年 中川村役場に奉職  
昭和三〇年 度会村職員(昭和  
四三年度会町職員)

昭和四二年 土木課長  
昭和五六年 総務課長  
昭和五八年 参事

本町助役に一田口一二二七番地山根勝己氏を選任することに同意したものの。(七月三十一日付で職員一参事一を退職)

度会町固定資産評価審査委員の選任につき同意を求めるとについて

任期満了に伴う本町固定資産評価会委員に一田口二六五番地山根清さんを選任したものの。

教育委員の任命につき同意を求めるとについて

本町教育委員に一和井野九〇九番地田畑悟さんを選任することに同意したものの。

度会町農業共済損害評価会委員の委嘱につき同意を求めるとについて

本町農業共済損害評価会委員に次の方々に委嘱することに同意したものの。(敬称略)

- 中山直治 注連指一二六二
- 世古幸男 麻加江七九二の一
- 大西賢一 棚橋 一四〇六
- 玉村 哲 田間 六六八
- 中野重行 日向 六九三
- 青木民夫 脇出 二九六
- 濱岡福蔵 南中村三六五
- 奥野可頌 小川 六一七

昭和五十九年度水稲無事戻し金の交付について

本年度の水稲無事戻しについて次のとおり決定しなものの。

▽交付対象年度 五十六年度一五十八年度引受分

▽交付対象者 五四六名

▽交付金額 一九七万二一九円

度会土地開発公社の昭和五十九年度の事業計画と予算について、報告がありました。

道路整備促進等と地方財政対策に関する意見書の提出が議決されました。

道路整備促進等に関する意見書

道路は豊かな地域社会を形成し、公共の福祉を増進させる基本的な社会資本であり、その整備は、積極的に推進すべきである。しかるに、昨今の国の財政事情に関連して道路整備のための自動車重量税の一部が他に転用されるなど整備の遅延が憂慮されております。

地方道特に市町村道の整備は著しく立遅れ、本町の道路整備も、例外ではなく、生活文化、経済の根幹をなす道路整備推進こそ目下の急務であります。

かかる状況から、政府におけるは、下記のことについて、御配慮を下さいますよう、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出いたします。

一 第九次道路整備五ヶ年計画の完全達成を図ること。

二 揮発油税、自動車重量税等の特別税率は、昭和六十年年度以降も継続すること。

三 昭和六十年年度国の予算においては、自動車重量税は、全額道路整備費に充当すること。

四 昭和五十七年度、五十八年度、五十九年度予算における未充当の道路特定財源は、年度内、速やかな道路整備に充当すること。

五 景気振興を図るため、道路事業をはじめ公共事業の大型追加予算の編成をすること。

度会町議会議長 杉本光郎

内閣総理大臣 中曾根康弘殿(外)

地方財政対策に関する意見書 地方財政は、昭和五十年年度以降長期にわたり収支不均衡の状態にあり、昭和五十九年度末においては、借入金等の累積額が

五十四兆円にもものぼり、その償還が地方財源の大きな負担となつてゐる。更に明年度においても、巨額の財源不足が見込まれており、地方財政の現状は地方交付税総額の削減はもとより国庫補助負担率の引き下げによる地方負担の増加を受け入れられるような状態にない。よつて、明年度の予算編成に關して、下記の事項を強く要望する。

一 地方財政に対する国の財源保障の責務を全うするため、所要の地方交付税総額が確保されるよう万全の対策を講ずること。

二 最近、国の財源負担を軽減するため、国庫補助負担率を引き下げようとする動きがあるやに仄聞するが、これは地方財政の厳しい現状を無視し、地方公共団体に一方的に財政負担を転嫁しようとするものである。よつてこのような措置は絶対にとらないこと。

以上、地方自治法第九十九条第二項の規定により意見書を提出いたします。

度会町議会議長 杉本光郎

内閣総理大臣 中曾根康弘殿(外)

南勢広域 斎場組合 設立へ

第二回臨時町議会は、八月十一日招集され、継続審議となつていた「南勢広域斎場組合の設立について」の議案を可決しました。

尚、当一部事務組合の議會議員には、規約により町長と、同じく規約に基づく町議会の選挙により、杉本光郎氏及び御村友春氏が選出されました。

### 改築工事 工 着 工

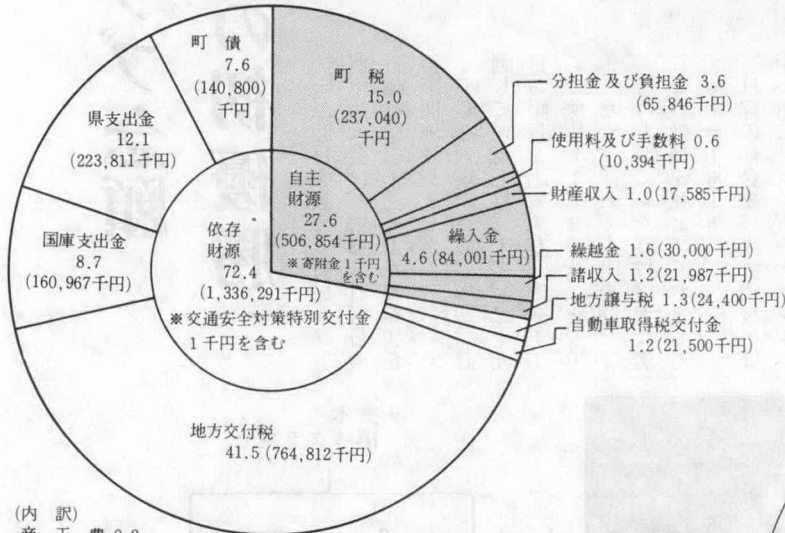
小川郷小学校改築工事に続く本町教育施設整備事業の第二弾として、昨年度の体育館建築に引き続き、昭和五十九、六十年度において、いよいよ内城田小学校の校舎が改築されます。当工事は、七月定例町議会で可決された予算に基づき来年八月の完成を目指します。八月二十一日、施

# ぐらふで見る

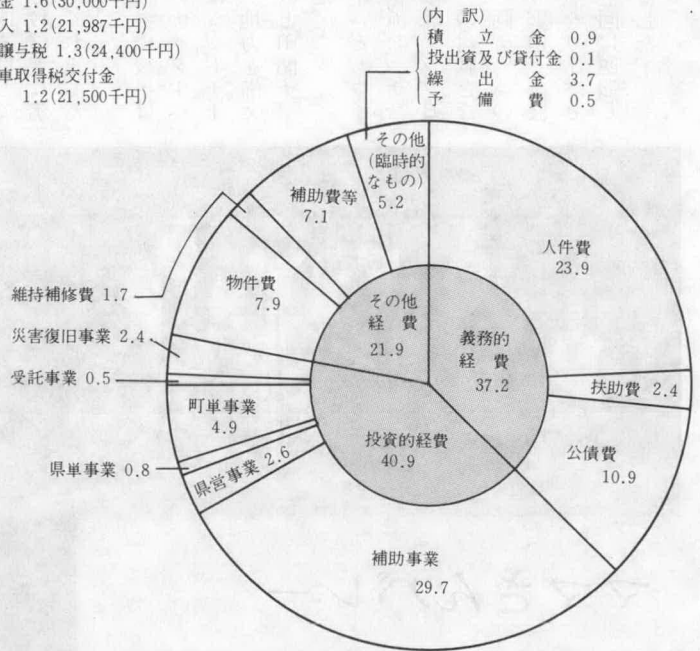
# 町の予算

〔一般会計〕

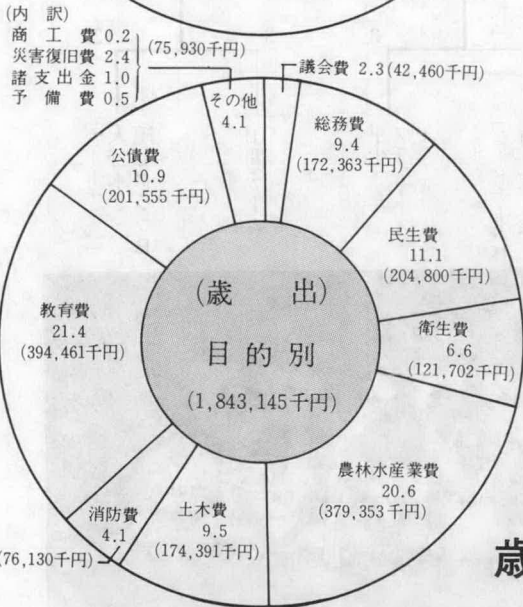
## 歳入



## 歳出 (性質別)



(割合は%を示す)



## 歳出 (目的別)



## 内城田小学校 いよ

工者吉川建設(株)により行われた起工式には、昭和九年に建築が始まった現在の木造校舎に残る数多くの思い出も新たに、参列者一同改めて、工事中の安全と新校舎の無事完成を祈願いたしました。

# 第12回 町民

# Ⅳ 一 槇峰クラブ念願 の初優勝

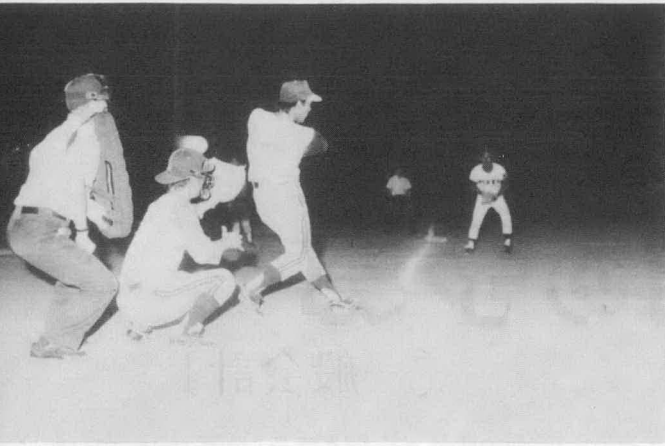
十二回目を数える町民ソフトボール大会は、去る八月五日の日曜日に二十三チームの参加を得て開催されました。

不順な天候のため、当初、計画していた七月二十二、二十九日の両日を雨で流し、十三チームが棄権してしまう大会となりましたが、それでも時を同じくして行われていた高校球児に劣らない熱戦を見せてくれました。

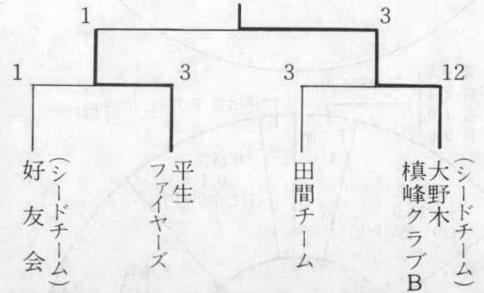
\*\*\*

日程の都合上、大会の後半は中小第二グラウンドのナイターへ移し、ベスト四にはシードチームの順当な進出と、地力を備える平生ファイヤーズと田間チームが勝ち残りました。

決勝戦は、両チームともウィンドミル投法の本格派ピッチャーを擁する大野木槇峰クラブBと平生ファイヤーズの対戦となりました。試合は、両チームのエースの熱投により緊迫した展開となり初回に一点をリードされた槇峰クラブが三回に逆転し僅少差で逃げきりました。

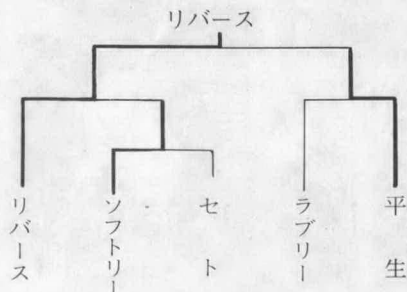


大野木  
槇峰クラブB



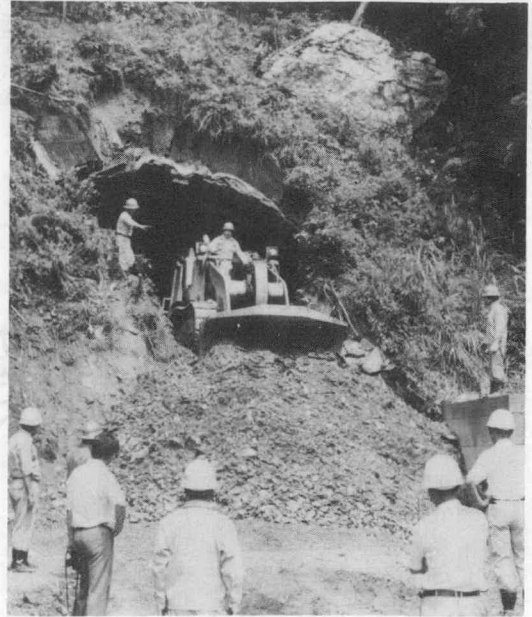
# ママさんバレー リバース 6連続優勝

第十一  
回町家庭  
婦人バレー  
ボール  
大会は、  
七月二十  
二日、二  
十六日の  
両日度中  
両日度中  
体育館と  
町民体育  
館で開催  
されました。  
ママさん  
バレー五  
チームが



熱戦をくりひろげ、リバースチームが六連続優勝の偉業を達成しました。

# サニーロード 五号トンネル貫通



国道二六〇号線（南勢町船越地内）と

県道鳥羽松阪線（明

和町有爾中地内）二

四・四キロを結ぶ、

県営広域営農団地基

幹農道整備事業（サ

ニーロード）は、全

線開通を目指し着々

と工事が進められて

いますが、第三工区

として昨年十一月に

完成した、南伊勢大

橋に続き工事が進め

られてきた五号トン

ネル（度会町大野、

玉城町宮古）が貫通

し、去る七月二十五

日現地で貫通を祝う

式典が行なわれました。

同トンネルは、全長四二四・

五メートル、幅は車道が六・五

メートルと、両側に〇・七五メ

ートルの歩道がつきます。工事

費は八億四千六百万円を要し、

貫通後は内部工事が行なわれて

来年九月に完成の予定となっております。

この日、最後のハツパで度会

町側の山腹にポツカリと坑口が

あき、その後ブルドーザーで坑

道が整備され、トンネル内で玉

城町側（玉城町長代理、県耕地

第一課長）とこれを出迎える度

会町側（度会町長、伊勢耕地事

務所長）が、しっかりと握手を交

し、工事の無事と貫通を祝いま

した。

## 農業共済制度は

### 農家のための制度

今年の稲作は長期予報では、冷害が予報されていましたが、七月から八月の日照込みにより、今のところ順調な生育をみせて、全国的な豊作が予想されています。しかし、一度災害が発生すれば被災農家がお世話になるのが農業共済制度であります。

この制度は、家畜保険制度と農業保険制度が統合されて、内容を拡充強化して、昭和二二年に農業災害補償法に基づく共済制度として発足しました。そして、農家の思いがけない災害に

よる損害を補填して、農家経済を守ることも農業生産力の発展を図ることを目的とした国の重要な農業災害対策制度となっております。そして、同様の危険にさらされている全ての農家が

共済掛金（農家が四〇%、国が六〇%を負担）を出し合って共同準備財産を造成しておき、もし災害が発生した時は、その共同準備財産により被災農家に共済金の支払をするという、農家相互の扶助を基本とした制度であります。

この農業共済制度には、農作物共済以外に家畜共済、園芸施設共済があり、それぞれ引受を行っています。また、農作物共済では、水稲無事戻し金制度と水稲損害防止事業の制度があり被害の無かった農家にも掛金の一部を還元しております。

#### ▲水稲無事戻し金制度

過去三会計年度間に支払った共済掛金の合計額の半額から、同じ期間に支払を受けた共済金と、前年度と前々年度に支払を受けた水稲無事戻し金を差引いた額を水稲無事戻し金として交付する制度。

#### ▲水稲損害防止事業制度

水稲の損害防止費として、農業補助金を一〇アール当り八百円交付する制度。

## 新しい

### 農業委員さん

本年七月十九日に任期満了となった本町農業委員会委員の選挙は、去る七月十日に告示され同月十五日、候補者が委員の定数をこえなかったため次の方々が無投票当選となりました。又同時に農業協同組合と町議会からの推せんによる委員も選任されました。

任期は三年です。今後のご活躍をご期待いたします。

掲載は届出順

坂本 行生	大久保	藤原 正一	鮎川
廣 修一	注連指	伊藤 俏一	日向
杉井 定一	葛原	櫻田 昌三	長原
作野 順一	小萩	農業協同組合からの推せんによる選任	
南出 清八	坂井	中村 幸生	麻加江
山本 英吾	川口	浜岡 福蔵	南中村
辻井 貞次	牧戸	町議会からの推せんによる選任	
中村 徳次	上久具	山下 孫一	大野木
山下 定一	南中村	山根 勝己	田口
岡村 貞夫	棚橋	岩本 忠義	中之郷
西岡 和夫	和井野	中村 浅一	長原
中井慎一郎	火打石	小岸 政裕	下久具
福井 滝雄	大野木		

# 消費生活専門 講座に参加し てみませんか

県消費生活センターでは、消費生活に関する基礎的な知識を身につけていただくため次の要領で専門講座を開催します。ご希望の方は役場―総務課までお申込みください。

▽講座内容―六課程十二科目  
▽講座期間―十月十八日、十一月十九日、十二月二十日、一月十七日、二月二十一日、三月二十日

▽開催場所―津市桜橋二―三―社会福祉会館

▽対象者―六ヶ月間通じて受講できる方で、消費生活問題に関心が深く、他の人たちに伝達しようという意欲のある方

## 知っていますか

### 木材引取税

山林所有者が立木を譲渡すると、山林所得に対して所得税、及び住民税が課されますが、その素材を引取った者（素材業者等）にも木材引取税が課されま

す。

木材引取税は、売買された立木の所有者が特別徴収義務者となり素材引取者から税を徴収し町に納付していただきます。素材の取引（売買）がなされたときは、必ず立木の種類、

取引価格、引取者名を役場（税務課）へ報告されるとともに木材引取税を納めて下さい。税額は取引価格の二パーセントです。例えば、百万円で取引された場合、税額は二万円となります。

## 中国残留日本人

### 孤児をお探しの方へ

厚生省では、さきの大戦の終結前後の混乱期に中国の東北地区（旧満州）等において、肉親と離別したいわゆる中国残留日本人孤児（当時の年齢が十三歳未満である者）について、あらためてその者の肉親等から離別当時の状況に関する届出を求め、肉親捜しの調査のための基礎資料とすることになりましたので、次の方は、昭和五十九年九月末日までに町役場へ申し出て下さい。

記

## 拾った空カン二万個

### 小中学生が夏休みを利用し清掃奉仕



去る七月二九日（日）に小中学生とその父兄約一、〇〇〇人による、空カン拾いが実施されました。

この運動は、青少年の健全育成を進めております青少年育成町民会議が、小中学生も自分たちの住んでいる地域の美化運動に参加して、美しい町づくりの心を育て、ひいては健全育成にも役立てようという計画したものであり、当日学校

行事の都合により参加出来なかつた中川小学校区（地区行事として別途実施しました。）を除く、全町内の道端や広場の空カンが一斉に拾われ、約〇・六トン（約二万 個）が美化センターに持ち込まれました。

シートベルト着用運動  
展開中

## 広報文芸

茶の実句会抄 野田翠楊選

百合の香の高き茶房やピアノ曲  
棚橋 松本 貞翠  
かくれんぼかくれた筈の簾かな  
立花 羽根 薫子  
大内山塾にて  
塾生は中国語なり暑き夜を  
立花 羽根 翠嶺

地下足袋に麦茶二杯を飲み干せり  
大野木 山下弥十彦  
大きな手山百合一本剪りにけり  
坂井 浜井 多平

中国において終戦前後の混乱期に肉親と離別した子女で、その者の戸籍処理の現状にかかわらず死亡したという確証が得られていない者について、離別当

時の状況を承知している肉親等。※詳細は、県福祉部老人福祉課 ☎0592-2412263又は、役場―福祉係へお尋ねください。





## 第六話

## 中国故事略伝

立花 羽根 文夫

韓信の股ぐりと「背水の陣」

漢の高祖が天下を取ったのは三人の勝れた部下が居た為であると郡臣に語った。

一人は、現代語に直すと参謀総長である張良と最高軍司令官の韓信と総理大臣兼運輸相である蕭何の三人が私を助けて天下を統一する事が出来たと云った。

今回は比の中で韓信について話しを進める事に致します。今も日本でよく使われる「背水の陣」。この言葉は彼の言動と深いかわりがあります。

韓信は、小さい時から貧乏であった。然し、希望だけは大きく持っていた。或日、故郷の淮陰という町で釣をしていた所、彼が常にひもじい思いをしているのを知っていた古綿さらしの波さんに見つかり、食事を与えられた。韓信は礼を述べ、「俺が出世したらたくさんの御礼を婆さんにあげるよ」と云った。すると婆さんは「立派な若

者が自分一人で食べていけないのを気の毒に思つて食事をあげただけで、礼を頂こうと思つてした事ではない」と腹を立てて云った。

こんな韓信を見て牛馬の屠殺場の若者達が韓信をバカにして「お前は、身体ばかり大きくて長い剣をぶらさげて居るが、心の中はびく／＼の人間だ。バカにされて悔しいなら、一番俺をその剣で刺してみよ。若し、それが出来ないのなら、俺の股をくぐれ。」と云った。

韓信は、じつと若者の顔を見つめて居たが、腹ばいになって股の下をくぐって出た。町中の者はそれを見て韓信の臆病さを笑った。時は経て、漢の高祖に仕えた彼は、高祖が、漢中王となつて赴任（今の四川省）するのを聞き、多くの將軍達と共に故郷が恋しくて逃げ出した。

この時、最初に述べた大臣の蕭何は彼のあとを追つて彼を引き止めた。高祖は「他の將軍達

が逃げるのを見捨てて何故韓信だけを引き止めるのか」と聞いた。蕭何は、「他の將軍の代りはいくらでもありますが韓信だけは得難い人物です。漢が亡ぶか、興るかの分れ目です彼を軍の総司令官にしてやって下さい」と云った。

その時から、韓信の下、漢の作戦行動はことごとく敵を破つていった。

さて、「背水の陣」とは、前は敵、後は川で兵を死地に追いやるものであると古来云われてきたのであるが、韓信は逆に「井陘口」の戦で敵の趙の大軍をこの兵法を用いて破つたのでした。韓信は、井陘口に到着する前に部隊を分け、身軽な騎兵二千人に一人づつ自軍の赤旗を持たせて敵の趙軍の動きを見張らせた。彼は本隊を率いてまず、川を後にして陣どらせた。夜が明ると大将の旗や太鼓を打つて堂々と攻撃に移つた。それを見ると趙の軍は、城門を開いて打つて出て韓信軍を川に追い落そうとした。戦はしばらく続いたがやがて、韓信軍は川の方へ退却した。之を間道から見て居た二千の騎兵は、空になった敵の城へ入り自軍の赤旗を立てた。

一方川を背にした韓信軍は、必死になつて戦い逆を敵をじりじりと追いつめた。趙軍は、城

へ向つて退却を始めようとしたが、既に自軍の城はいつの間にか漢軍の赤い旗が立っていた。漢軍は、川を背にした必死の兵と騎兵隊の奇襲攻撃により敵はさみ撃ちにして趙の軍を破つた。

「背水の陣」の起りは以上の故事から生れたのである。……しかし、韓信は後に故郷の淮陰

王となつたが、余り強大になりすぎた為、高祖から疑われ処刑された。

韓信のことは、若くして人の嘲笑に耐えた「股ぐり」の忍耐により身を成し、後に欲望の為に身をあやまつた一例として、人の生き方に教えられるものがある。

お盆からの雨で暑さも少しやわらいだ感じがいたします。お盆のにぎわいが去り、もとの静けさをとりもどした字々では、稲刈りが始まろうとしております。

今年のお盆は、一二日頃から各地で盆おどりやカラオケ大会が行なわれたようですが、盆おどりは、レコード踊りに加えて昔から伝わるシヨンが音頭、甚

句音頭、かわさき

音頭などの踊りが、復活のきざしを見せたようです。

ふるさとを見直そう、ふるさとの昔からの文化を大切にしようという運動が地道に続けられていますが、

大事なことだと思

います。

にわか造りの屋台の上で音頭とる者、音頭に合せて屋台の下で踊る者、両者の息がぴったり合つて、踊りは最高調となりま

す。久しぶりに故郷に帰つた人たちが、踊りの輪の中に入って踊る姿は美しいと思ひました。

子供たちにとつても、盆おどりのほなやかさ、あわれさはいつまでも心に残ることと思ひます。それがやがて故郷を大切に

する心を育てるものと思ひます。麻加江のカッコ踊りを始めと

して、念仏おどりを行なう字がかなりあるようです。ビデオに撮つて保存したり、後継者づく

りを行なつたりして、伝統文化を後代に伝えてほしいものです。

(Y・S)

## 公民館だより

# お知らせ版



## 町職員を募集

町では、労務職員を次のとおり募集します。

### 採用職種及び採用予定人員

- 労務職員
- 男子 若干名 (美化センター勤務)
- 女子 若干名 (調理員又は用務員)

### 受験資格

- 男子応募者は、普通自動車の運転可能な者
- 町内に住民登録を有し、引き続き町内に居住する者
- 昭和二十年四月一日から昭和四十四年四月一日までに生れた者
- 日本国籍を有し、地方公務員法第十六条(欠格事項)に該当しない者

### 受験申込み手続き

員法第十六条(欠格事項)に該当しない者

○受験申込み書受付期間

昭和五十九年九月十二日(水) から昭和五十九年九月二十日(木) まで(ただし日曜日、祭日を除く)

○受付時間

午前八時三十分から午後五時まで

○提出先

度会町役場―総務課

○受験申込書

○自筆履歴書

○最近撮影した写真 一枚

○試験日及び場所

○昭和五十九年九月二十五日(火) 午前九時

○度会町役場

○試験科目

○作文及び面接(面接は午後

に及ぶ予定)

採用された職員の給与は、度会町職員給与条例により支給

○採用予定日

昭和五十九年十月一日

○その他

○受験申込み書及び履歴書用紙は、役場―総務課でお渡ししますので請求してください。

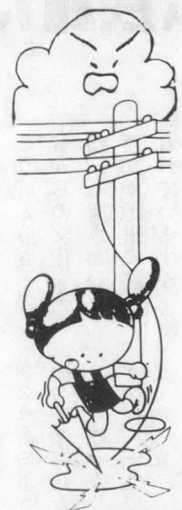
○その他不明の点は、総務課へお問い合わせください。

## 標語募集

三重県行政相談委員協議会では、住民の行政への関心を高め役所の行政サービスの向上を目的として「親切、清潔で、能率的な窓口」とするための標語募集を次により行いますので、多数応募して下さい。

△応募方法 郵便はがき一通に一題記入し、住所、氏名、年齢、性別、職業(学生は学校名と学年)を明記して郵送すること。一人が二通以上応募してもよい。

△宛先 津市丸之内二六ノ八 三重県行政監察局内 三重県



切れた電線にさわらないようにしましょう。

中部電力

## わたらい音頭

### ただ今選考中

行政相談委員協議会事務局  
△締切 九月二〇日(木) 必着  
△審査と表彰 十月上旬審査会を開催して入選作品を決定。入選者には表彰状と記念品を贈呈する。

七月十六日に応募を締め切った「わたらい音頭」の選考は、広く県内外から九十一名の応募があり、現在二度の選考を経て九点に厳選されました。八月末を目標に最終選考会が開催されます。今月号の広報締切日の関係で、とりあえず経過をお知らせしました。



### おめでた

#### 七月中に届出のもの

氏名	父名	続柄	字名
尾崎祐司	明	二男	当津
柳谷英伸	亘	二男	上久具
西村長幸	講和	長男	和井野
橋本佳世子	義人	長女	中之郷
小林絵美	茂夫	二女	葛原
大西将文	幸正	二男	棚橋
掛橋さやか	忠一	長女	川口

#### 七月中に届出のもの

氏名	年齢	字名
大野藤市	86歳	棚橋
中宮芳江	48歳	長原
山下林吾	63歳	大野木
中野實	60歳	中之郷

### おくやみ